



自然だより



幼少期は、人生で一番心の動く時期です。だからこそ、心を大いに揺さぶってくれる自然体験がとても重要になってくるのです。これは、単に自然の知識を得るということだけでなく、五感を通して「わあ、きれいだな」「いいにおいがする」「ごつごつしてるな～」といった様々な感覚を体験することが大切なのです。子ども達は、実際にふれる中で、自然の変化を感じ、自然と遊び、心が動かされていきます。これが、自然に対する興味・関心につながり、豊かな感性が育まれていくのです。

不思議なおいがるぞ～

アカメカシワ
ヘクソカヅラ
セイタカアワダチソウ
身近な植物が遊びに…



この茎、お箸みたいだ～

嗅覚、味覚、触覚は長期記憶です。幼い頃の自然体験は大人になっても覚えているものです。



これ、ほうきみたいだ～

フワフワするな～

かき氷はいかがですか～？

ジャリジャリする砂をジャリジャリするかき氷に見立ててお店やさんごっこ！楽しそう！



先生にもあげる～

大切に集めていた小石を先生にもプレゼント！共感してもらってもっと嬉しいね！



意外と知らない

身近な有毒植物

触るとかぶれる可能性がある

ウルシ



カクレミノ



ギンナン（実）



食べると最悪死に至る可能性がある

チューリップ（球根）



キョウチクトウ



エニシダ



食べると食中毒を起こす可能性がある

アジサイ（葉・茎・花）



イヌホオヅキ



スイセン（球根）



ヤツデ（葉・茎・根）



フクジュソウ



食べると舌がヒリヒリする可能性がある

エゴノキ



自然との触れ合い幼少期に植物を触ったり匂ったりすることで脳が活性化されるともいわれています。安全に遊びながら、自然との触れ合いを大切にしていきたいと思います！

